

平成 24 年度
当初予算案の主要事業

浜松市財務部財政課

目 次

	頁
(1) 「未来創造『新・ものづくり』特区」について	1
(2) 平成 24 年度主なイベント事業一覧	2
(3) 緊急雇用創出事業について	7
[危機管理監]	
(4) 区版避難行動計画策定事業	9
(5) 津波対策事業	10
(6) 地域防災無線整備事業	11
(7) 防災施設・資機材整備事業	12
[企画調整部]	
(8) 浜松・出世城プロモーション事業について	13
(9) 区制検討事業	14
(10) みんなのはままつ創造プロジェクト事業	15
(11) 子どもの才能を伸ばす課外 I T 講座開催事業	16
(12) エンジン 0 1 オープンカレッジ開催事業	17
(13) 外国人の子どもの教育支援事業	18
(14) 日韓欧多文化共生都市サミット 2012 浜松開催事業	19
[財務部]	
(15) ご当地ナンバープレート作成について	20
(16) 固定資産税評価地理情報システム業務	21
[市民部]	
(17) 中山間地域まちづくり事業	22
(18) 浜松国際ピアノコンクール開催事業	23
(19) こどもミュージカル開催事業	24
(20) アクトシティ浜松施設整備事業	25
(21) 新活動拠点施設整備事業	26
(22) 平口スポーツ施設整備事業	27
(23) アーチェリー場建設事業	28
(24) 舞阪文化センター機能移転改修事業	29
(25) 入野公民館機能修復事業	30
(26) 東部公民館改築事業	31
(27) 北部地域図書館建設事業	32

(28) 秋野不矩美術館運営事業	33
(29) 天竜区船明地区墓地整備事業	34

[健康福祉部]

(30) 障害者（児）施設整備費助成事業	35
(31) 地域高齢者見守り・支援事業	36
(32) 老人福祉施設整備費助成事業	37
(33) 生活保護扶助事業	38
(34) 生活保護受給者等に対する就労支援事業について	39
(35) 地域密着型サービス等提供基盤整備費助成事業	40
(36) 鎮玉診療所の移転について	41
(37) 天竜区看護師等修学資金貸与事業	43
(38) 特定不妊治療費支援事業	44
(39) 子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業	45
(40) 浜松医療センター新病院構想策定事業	46
(41) 動物愛護教育センター整備事業	47

[こども家庭部]

(42) 地域子育て支援拠点事業について	48
(43) 放課後児童会施設整備事業	49
(44) 私立幼稚園就園奨励助成事業	50
(45) 児童福祉施設整備助成事業	51
(46) 発達障害者支援人材育成事業	52
(47) 発達支援広場事業	53
(48) 子どものための手当支給事業について	54
(49) 保育ママ事業の見直しについて	56
(50) 保育所待機児童の解消について	57
(51) 民間保育所施設整備助成事業	59
(52) 安心こども基金関連事業	60

[環境部]

(53) 第4清掃工場整備事業	61
(54) 静ヶ谷リサイクルセンター整備事業	62
(55) ごみ減量・リサイクル推進事業	63
(56) 雑がみ分別袋配布事業	64
(57) 可燃・不燃ごみ、資源物収集等業務について	65
(58) 新エネルギー利用推進助成事業	66

[産業部]

(59) 雇用促進・就労支援事業について	67
(60) パーソナル・サポート・サービスモデル事業	68
(61) 農地集約化促進事業	69
(62) 農作物被害対策支援事業	70
(63) 新規就農者育成支援事業	71
(64) 農業振興地域制度管理事業	72
(65) 森林産業の創出事業	73
(66) 森林整備地域活動支援事業	74
(67) 作業道、林道整備事業について	75
(68) 天竜材の家百年住居る助成事業	76
(69) 中小企業金融支援事業	77
(70) ギャラリーモール運営事業	78
(71) 創造文化産業振興事業	79
(72) 新産業創出事業費補助金	80
(73) 次世代環境車社会実験事業	81
(74) 新産業展示館基本計画策定事業	82
(75) 企業立地促進助成事業	83
(76) 企業用地整備事業	84
(77) インバウンド推進事業	85
(78) インバウンド自治体職員協力交流事業	86

[都市整備部]

(79) 地震対策推進事業	87
(80) 公共建築物長寿命化推進事業	88
(81) 公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業	89
(82) 西鹿島駅周辺まちづくり計画策定事業	90
(83) 浜松駅周辺交通円滑化事業	91
(84) 環状路線バス実証運行事業	92
(85) フェンロー国際園芸博覧会（フロリアード2012）について	93
(86) セントラルパーク構想推進事業	94
(87) 浜松城公園整備について	95
(88) 市営住宅ストック総合改善事業	96

[土木部]

(89) スマートインターチェンジ推進事業	97
(90) 橋りょう耐震補強事業	98
(91) 河川管理施設長寿命化及び耐震化事業	99

(92) 都市鉄道高架化事業	100
(93) 天竜川駅周辺整備事業	101
[上下水道部]	
(94) 浄化槽助成事業	102
[消防局]	
(95) 浜北消防署赤佐出張所改修事業	103
(96) 自家給油施設整備事業	104
(97) 西消防署大平台出張所建設事業	105
(98) 消防車両・救急自動車・消防団車両の整備について	106
[学校教育部]	
(99) 学校規模適正化推進事業	107
(100) 教育指導支援員配置事業一覧	108
(101) 理科支援員配置事業	109
(102) 学校建設事業一覧	110
(103) 庄内地区小中一貫校建設事業	111
[南区]	
(104) 南区役所調整池整備事業	112
[天竜区]	
(105) 龍山協働センター建設事業	113

項目	「未来創造『新・ものづくり』特区」について	産業部
		農林水産政策課 産業振興課

1 概要

農業においては、担い手の減少とともに耕作放棄地が増大し、一方の工業においては、工場拡張や新規立地の用地が不足している。これらの課題を解決するため、市街化調整区域における農業と工業のバランスある土地利用の実現により、農業の産地力強化と新産業の集積を図るもの

- (1) 農地の集約を進め、企業の農業参入や営農拡大意欲ある農業経営者に農地を斡旋
- (2) 農地転用等の規制緩和により立地の需要に対応し、新成長産業の集積を誘導

2 目標

市街化調整区域における農業と工業のバランスある土地利用の実現

3 国と地方で共有する包括的・戦略的な政策課題

- (1) 農地の集約と企業等の農業参入の促進
- (2) 既存産業の高度化と戦略的な企業誘致による新成長産業の集積

4 目標達成に向けた H24 年度実施事業

- (1) 農業分野
 - ・（新規）農地集約化促進事業 10,000千円
- (2) 産業分野
 - ・（新規）企業用地整備事業 96,281千円

参考 総合特別区域の第一次指定（H23.12.22）

- ・ 国際戦略総合特区（日本の経済成長のエンジンとなる産業・機能の集積拠点の形成）：7 地域
- ・ 地域活性化総合特区（地域資源を最大限活用した地域活性化の取組による地域力の向上）：26 地域（含、未来創造「新・ものづくり」特区）

平成24年度主なイベント事業一覧

(単位：千円)

款	事業名	所管課	予算額	内 容
1 総務費	エンジン01 オープンカレッジ	企画課	35,000	エンジン01文化戦略会議オープンカレッジを浜松に誘致し、各分野の第一線で活躍する著名人、文化人と市民の交流や、地域文化の活性化を図る
2 総務費	浜松カップ「フェスタ・サンバ」	国際課	4,500	全国で最多のブラジル人が居住している都市の特徴を活かし、全国からサンバチームを募集しコンテストを開催することで、「多文化共生都市・浜松」を発信
3 総務費	日韓欧多文化共生都市 サミット2012	国際課	4,500	日韓欧の多文化共生都市の首長によるサミットを開催し、国内外の多文化共生都市間の連携を促進
4 総務費	浜松国際ピアノ コンクール	文化政策課	130,000	第8回浜松国際ピアノコンクールを開催
5 総務費	浜松吹奏楽大会	文化政策課	14,500	第17回浜松吹奏楽大会を開催
6 総務費	静岡国際オペラ コンクールイベント	文化政策課	2,000	第4回県民オペラ「夕鶴」の上演
7 総務費	さくま国際交流 コンサート	文化政策課	3,985	ウィーン・フィルのバストロンボーン奏者を招聘し、交流コンサート等を開催
8 総務費	県民合唱祭	文化政策課	500	第57回県民合唱祭を開催
9 総務費	まちなかコンサート	文化政策課	13,500	プロムナードコンサート等の開催
10 総務費	ハママツ・ジャズ・ ウィーク	文化政策課	5,600	ヤマハ(株)との共催によりコンサートを開催
11 総務費	プラタナスコンサート	文化政策課	1,600	静岡新聞社・静岡放送との共催によりコンサートを開催
12 総務費	アクトシティパイプオル ガンミニコンサート	文化政策課	2,700	短時間で出入り自由、気軽に聴けて楽しめる無料のオルガンミニコンサートを開催
13 総務費	こどもミュージカル	文化政策課	20,000	第4回こどもミュージカルを開催
14 総務費	小中学生将棋名人戦	文化政策課	400	小中学生を対象とした「第2回浜松小中学生名人戦」を開催
15 総務費	浜松シティマラソン	スポーツ 振興課	12,000	第9回浜松シティマラソンを開催 (種目をハーフ、5km、3kmを設け実施)

(単位：千円)

款	事業名	所管課	予算額	内 容
16	総務費 全国高等学校選抜ボート大会	スポーツ振興課	4,000	第24回全国高等学校選抜ボート大会を開催 (種目 舵手つきクォドルプル、ダブルスカル、シングルスカル各男女の計6種目)
17	総務費 とびうお杯全国少年少女水泳競技大会	スポーツ振興課	4,000	とびうお杯第27回全国少年少女水泳競技大会を開催 (日本水泳連盟公認の唯一の学童大会)
18	総務費 (仮称)浜松戦国山城まつり	文化財課	3,800	地域資源である山城の認知度向上及び魅力のPRを図るイベントを開催
19	総務費 おいしい舞阪まるごと体験フェア(舞阪)	西区 区振興課	2,481	舞阪地域の冬の味覚など地場産品をPRし、消費・流通を向上させ産業の振興を図るために開催
20	総務費 納涼祭(舞阪)	西区 区振興課	1,620	地域の活性化及び弁天島に訪れている観光客を対象に観光振興事業として実施
21	総務費 納涼祭(雄踏)	西区 区振興課	4,531	雄踏音頭等手踊りなどを通して相互の親睦を図るために開催
22	総務費 弁天島花火大会	西区 区振興課	5,000	毎年7月第1土曜日に開催される弁天島海開き花火大会の開催
23	総務費 姫様道中(細江)	北区 区振興課	6,500	姫様行列を通じて気賀関所を中心とした江戸時代の街道文化の継承を図り、観光客へのもてなしと共に地域の一体感の醸成を図る
24	総務費 ゆかた祭り(細江)	北区 区振興課	600	7月第3土曜日の夜、気賀市街地にて実施、ゆかたの振興を通じて集客を図り、地域の活性化をもたらす
25	総務費 気賀関所まつり(細江)	北区 区振興課	600	市民及び観光客に姫街道及び細江地域の歴史と文化をPRする
26	総務費 いなさ人形劇まつり(引佐)	北区 区振興課	5,683	良質な人形劇をより多くの市民が観劇できる機会を設けることで、家族のふれあいの場を提供し、情操豊かな子供の育成を図る
27	総務費 三ヶ日花火大会	北区 区振興課	5,000	三ヶ日地域の伝統行事として市内外から多くの集客をし、地域の活性化や観光PRを図る
28	総務費 浜北区市民文化祭(浜北)	浜北区 区振興課	1,620	区における芸術文化の振興を目的として、文化祭を実施
29	総務費 浜北万葉まつり(浜北)	浜北区 区振興課	3,877	市民に広く万葉文化に親しんでもらうとともに、万葉の森公園を万葉文化の情報発信拠点として内外にアピールするために「こどもまんようまつり」、「万葉まつり」及び「椿まつり」を開催
30	総務費 浜北産業祭(浜北)	浜北区 区振興課	5,000	区の産業や特産物の紹介、地域の産業振興や情報発信を図るための浜北産業祭を開催

(単位：千円)

款	事業名	所管課	予算額	内 容
31	総務費 はまきたグリーンフェスタ(浜北)	浜北区 区振興課	1,750	美蘭中央公園の開園記念日(4月29日)に、みどりに関するイベントを実施
32	総務費 なゆた・浜北にぎわいづくりイベント(浜北)	浜北区 区振興課	1,780	飛竜まつり期間中に、なゆた・浜北のにぎわいを創出するためにイベントを実施
33	総務費 高齢者いきいきフェスティバル(浜北)	浜北区 区振興課	1,800	高齢者に野外活動を楽しむ機会を提供することにより、生きがいと健康づくりに対する意識の高揚を図るイベントを実施
34	総務費 遠州はまきた飛竜まつり	浜北区 区振興課	5,000	市民がともに楽しみ、互いに親睦と連帯感の高揚を図り郷土愛を育むとともに地域産業の活性化と地域文化を創造することを目的として、各種イベントを開催
35	総務費 鹿島花火大会	天竜区 区振興課	1,820	鹿島花火大会を毎年8月第1土曜日に開催
36	総務費 産業観光まつり(天竜)	天竜区 区振興課	4,658	産業観光まつり及び信康武者行列を毎年11月3日に開催
37	総務費 天竜駅伝大会等(天竜)	天竜区 区振興課	1,200	市民の健康づくりとスポーツ振興を目的に、天竜駅伝大会及びだれにでもできる軽スポーツ大会を開催
38	総務費 はるの産業まつり(春野)	天竜区 区振興課	4,320	産業の振興、地域活性化のためにはるの産業まつりを開催
39	総務費 天狗の里駅伝大会(春野)	天竜区 区振興課	2,497	地域活性化とスポーツ振興を目的に天狗の里駅伝大会を開催
40	総務費 新そばまつり(佐久間)	天竜区 区振興課	1,564	そばの生産とそば打ちの普及を図り、産業の振興及び都市住民との交流を促進する
41	総務費 民話の郷イベントと観月会(佐久間)	天竜区 区振興課	1,314	地域に伝わる代表的な口承文化である民話や食文化及び伝統芸能などを市内外に広報し、交流人口の増加を図るためイベントを開催
42	総務費 フェスタさくま(佐久間)	天竜区 区振興課	2,338	農林商工業の活性化と地元商店街の活力向上を図るために、地域特性を最大限に活かした地域振興イベントを開催
43	総務費 佐久間ダム祭(佐久間)	天竜区 区振興課	3,030	地域の象徴である「佐久間ダム」を市内外に広報し、交流人口の増加を図るためイベントを開催
44	総務費 佐久間駅伝大会(佐久間)	天竜区 区振興課	3,174	健康増進と参加チーム間の交流を図るための佐久間駅伝大会を開催
45	総務費 水窪文化祭(水窪)	天竜区 区振興課	152	各部門の研究成果の発表など芸術文化の向上を目的とする文化祭を開催

(単位：千円)

款	事業名	所管課	予算額	内 容
46	総務費 水窪まつり（水窪）	天竜区 区振興課	3,844	全町民の祭りとして、仮装行列、屋台の引き回し、花火の打ち上げなどを開催
47	総務費 峠の国盗り綱引き合戦（水窪）	天竜区 区振興課	600	地域間交流と観光振興を目的に実施する峠の国盗り綱引き合戦（長野県飯田市との共催）を開催
48	総務費 産業まつり「夢街道」（水窪）	天竜区 区振興課	1,564	商店街の活性化、地域の一体感の醸成、交流人口の増加を目的に実施する「みさくば夢街道」を開催
49	総務費 水窪体育祭（水窪）	天竜区 区振興課	365	地域住民のスポーツに対する関心をたかめ、スポーツ活動の日常化、生活化を一層促進するため、水窪地区体育祭を開催
50	総務費 北遠駅伝大会（水窪）	天竜区 区振興課	539	スポーツ振興と市民の健康づくりを目的に、県内で最も歴史のある北遠駅伝大会を開催
51	総務費 秋葉ダムさくらマラソン大会等（龍山）	天竜区 区振興課	1,816	交流人口の拡大やスポーツ振興を目的に秋葉ダムさくらマラソン等を開催
52	総務費 ほっとびあ龍山（龍山）	天竜区 区振興課	1,350	地域活性化と交流人口の増加を目的に龍山産業まつり「ほっとびあ龍山」を開催
53	民生費 親子ふれあい子育てフェスティバル	次世代 育成課	1,620	親子で触れ合う楽しさや子育ての喜びを感じることのできる、親子ふれあい体験、公演会、子育て相談など親子参加型のイベントを実施
54	農林水産業費 浜松市農林水産まつり	農林水産 政策課	2,400	地場産品の販売など地元農林水産物を市民に広くPRするためのイベントを開催
55	農林水産業費 (仮称) F S C 森林サミット	農林水産 政策課	1,000	FSC材を核とした新しい林業ビジネスモデルの創出を目的とし、林業における6次産業化や農「林」商工連携を進めるためのイベントを開催
56	農林水産業費 森林感謝祭	農林業 振興課	450	森林教室や間伐体験等を通じて、広く市民に森林についての理解を深める
57	商工費 次世代環境車社会実験PRイベント	産業振興課	2,300	次世代環境車を広く社会にPRするイベントの開催
58	商工費 E-KIZUNAサミット・フォーラム	産業振興課	5,500	温室効果ガス排出量削減や環境技術立国に向けた2県・20市区・12企業による電気自動車の普及に関するイベントの開催
59	商工費 静岡県繊維総合見本市	産業振興課	2,100	本市の繊維産業の振興を図るため、東京などにおいて静岡県繊維協会が実施する見本市の開催経費の一部を負担する
60	商工費 静岡県郷土工芸品展	産業振興課	100	本市の繊維産業（ざざんざ織や注染そめ）のPRのため、東京などにおいて静岡県繊維協会が実施する工芸品展への出展経費の一部を負担する

(単位：千円)

	款	事業名	所管課	予算額	内 容
61	商工費	しずおか新産業技術フェア	産業振興課	200	県内企業の経営革新やビジネスマッチング、新産業の育成を目的とする新技術や新商品についての商談会の開催負担金
62	商工費	浜松シティファッションコンペ	産業振興課	12,000	本市の繊維産業の振興を目的とした、将来顧客となる可能性が高い専門学生などの若いクリエイターを対象としたファッションコンペの開催負担金
63	商工費	バイクのふるさと浜松	産業振興課	7,450	オートバイをはじめとする輸送用機器産業の振興を目的とした、本市がオートバイ発祥の地であることを全国へ情報発信するイベントの開催負担金
64	商工費	浜松まつり	観光交流課	46,180	本市最大のイベントである浜松まつりの開催に要する経費（H23までは委託料等による直接実施だったが、H24より負担金等に変更）
65	商工費	浜名湖サイクリング	観光交流課	3,000	サイクリングによる宿泊適地としてのPRイベントの開催負担金
66	商工費	浜松出世城まつり	観光交流課	3,000	第2回浜松出世城まつりを開催
67	土木費	浜松花と緑の祭2012 （秋の都市緑化祭）	緑政課	4,000	「花と緑のまち・浜松」を広く市民にPRするため、浜松市全域へ花・緑の文化の普及を進めるとともに、中心市街地の活性化を図る
68	土木費	セントラルパーク基本 構想市民フォーラム	緑政課	1,500	「セントラルパーク基本構想」を公表し、市民に広くPRするための、講演会及びパネルディスカッションを開催する
合 計				444,372	

緊急雇用創出事業について

1 平成 24 年度事業概要

	重点分野雇用創造事業		
	重点分野雇用創出事業	地域人材育成事業	震災等緊急雇用対応事業
事業目的	介護、医療、農林、環境等成長分野として期待されている分野の雇用創出・提供	短期の雇用機会を提供した上で、研修により人材を育成	東日本大震災等の影響による失業者に対し、雇用・就業機会を創出 <雇用対象> 被災求職者及び H23.3.11 以降に失業した者
予算規模	国 3,500 億円 (県 174 億円)		国 2,500 億円 (県 32 億円)
雇用期間	1 年以内 (更新不可) 雇用期間が 6 ヶ月以内の場合は、1 回に限り更新可能で最長 1 年 被災失業者を雇用した場合は、2 回以上の更新可能		
事業要件	新規雇用者の人件費割合が事業費の 1/2 以上	左記に加え、新規雇用失業者の人件費以外の事業費のうち、研修費用の割合 3/5 以上 (介護分野を除く)	新規雇用者人件費割合が事業費の 1/2 以上 (地域人材育成事業も可、研修費要件なし)
事業期間	H25.3.31 まで (H24 年途中開始事業は H26.3.31 まで)		
対象分野	介護、医療、環境・エネルギー、農林水産、観光、地域社会雇用、教育研究、一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造分野、安心・安全社会分野、文化・芸術分野、「学んでよし、働いてよし」の理想郷づくり分野		特に限定なし ただし、可能な限り、成長が見込まれる分野での事業実施に努める

【参考】ふるさと雇用再生特別対策事業 23 年度で事業終了

事業目的	地域内でニーズがあり、かつ今後の地域の発展に資すると見込まれる事業を実施し、求職者に対して安定的な雇用機会の提供を行う。
予算規模	国 2,500 億円 (県 42 億円)
対象事業	新規事業 (既存事業の拡充を含む) 23 年度以降も継続性のある事業
実施要件	事業費に占める新規雇用者の人件費割合...50%以上
雇用期間	原則 1 年以上
実施主体	企業、NPO 等に委託 (地方自治体の直接実施は不可)

2 浜松市の状況

(1) 予算規模

(単位：千円)

区分	20 年度 決算	21 年度 決算	22 年度 決算	23 年度		24 年度 当初	合計
				当初	決算見込		
緊急雇用	28,849	652,202	941,184	1,076,215	1,186,384	485,384	3,294,003
ふるさと雇用	-	41,238	147,733	149,004	149,004	0	337,975
計	28,849	693,440	1,088,917	1,225,219	1,335,388	485,384	3,631,978

(2) 雇用規模

(上段：人数 / 下段：延べ人日)

区分	20 年度 決算	21 年度 実績	22 年度 実績	23 年度		24 年度 当初	合計
				当初	決算見込		
緊急雇用	96	696	876	557	659	218	2,545
	2,722	36,394	58,557	58,666	66,943	27,141	191,757
ふるさと雇用	-	25	32	25	25	0	82
	-	1,543	6,650	6,020	6,020	0	14,213
計	96	721	908	582	684	218	2,627
	2,722	37,937	65,207	64,686	72,963	27,141	205,970

緊急雇用創出事業一覧(平成24年度)

	所管課	事業名	H24予算 (千円)	新規 雇用者数	延べ人日
1	国際課	外国人の子どもの教育支援事業	46,817	10	2,160
2	資源廃棄物政策課	連絡ごみ受付センター運営維持管理業務(駆込み対応業務)	24,927	15	1,344
3	産業廃棄物対策課	不法投棄監視調査事業	62,000	27	6,561
4	廃棄物処理施設管理課	西部清掃工場ごみ検査事業	3,024	6	246
5	産業総務課	大学等新卒予定者就労支援事業	28,000	6	1,100
6	観光交流課 (北区まちづくり推進課)	奥浜名湖観光誘客宣伝推進事業	3,992	1	222
7	土木総務課	建設業の異業種連携に関する調査事業	6,000	2	230
8	教職員課	幼稚園教育指導員配置事業	9,882	30	2,550
9	教職員課	発達支援教育指導員配置事業	6,200	20	1,600
重点分野雇用創出事業小計			190,842	117	16,013
10	農林業振興課	地域残材搬出事業	60,000	18	2,520
地域人材育成事業小計			60,000	18	2,520
11	人事課(危機管理課)	東日本大震災被災地・被災者支援センター運営事業	1,795	1	252
12	障害者更生相談所	身体障害者用手帳診断書等の整理保管事業	18,077	5	475
13	農林水産政策課	農地集約化促進事業	10,000	4	380
14	土木総務課	道路台帳調製業務	33,000	11	1,000
15	土木総務課	準用河川台帳整備業務	20,000	4	740
16	土木総務課	道路台帳数値化業務	60,000	14	2,156
17	土木総務課	河川台帳一般平面図整備事業	40,000	10	1,440
18	道路課	道路交通量調査業務	50,000	32	1,920
19	教職員課	小中一貫校開校に伴う事務事業	1,670	2	245
震災等緊急雇用対応事業小計			234,542	83	8,608
H24当初合計			485,384	218	27,141

項目	区版避難行動計画策定事業						危機管理監
							危機管理課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	需用費	委託料				
26,000		11,600	14,400				

目的	区ごとに異なる災害要因に応じた基礎知識、情報伝達体制、対応方法などを分かりやすい形で市民に提供する。
背景	本市は地域ごとに災害要因も異なるため、地域の災害特性に応じた避難行動計画の策定が求められている。
内容	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 区ごとに土砂災害、津波等の災害要因に即した避難行動計画を策定する。 避難行動計画については本編と概要版を策定する。 <p>本編には津波、洪水、土砂災害など区ごとに想定される災害と避難方法、減災対策などを盛り込む。</p> <p>概要版には災害時の危険箇所や避難場所などを掲載し、住民が身近に置いておき、いざというとき使えるものを作成する。 (概要版およそ32万部を作成、全世帯へ配布)</p> <ul style="list-style-type: none"> 区ごとに住民を交えた策定会議を開催。(7区で各5回、計35回程度開催) <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[市民] --> C((避難行動計画策定会議)) B[市職員] --> C D[ファシリテーター] --> C C --> E[区版避難行動計画] </pre> </div> <p><スケジュール(予定)></p> <p>平成24年3月～8月 避難行動計画策定会議開催(各区5回程度)</p> <p>平成24年9月末 避難行動計画完成</p> <p>平成24年10月～ 概要版印刷・配布</p>

項目	津波対策事業				危機管理監	
					危機管理課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	委託料	工事請負費		
320,000		1,200	81,723	237,077		

目的	浜松市の津波対策の見直しを重点的に行い、津波による人的被害を最小限にすることを目的として、津波対策事業を行う。											
背景	平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災では、死者・行方不明が約 20,000 人に上る甚大な被害が発生した。その主な被害の要因は津波によるものであった。 浜松市では、東西約 18km の遠州灘に面しており、第 3 次被害想定を越える津波が懸念される。											
内容	<p>津波避難施設の整備 (304,181 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波避難施設の調査・設計 人口密集地及び施設空白地を対象に津波避難施設を設置するための調査・測量・設計を行う。 津波避難用盛土 2箇所 津波避難タワー 5箇所 屋上階段の設置 既存公共施設へ外階段を新たに設置し、屋上への避難路を確保する。 屋上にフェンスがない箇所については、新たにフェンスを設置する。 小中学校 6棟 (篠原小、新津小、河輪小、可美中、東陽中、旧遠州浜小) 市営住宅 6棟 区役所 2棟 (西区、南区) <p>看板設置工事 (3,900 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>設置場所</th> <th>設置個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>津波避難ビル標識</td> <td>西、南区内の津波避難ビル</td> <td>200 枚</td> </tr> </tbody> </table> 平成 23 年度に新たに指定された津波避難ビルへ看板を設置						種類	設置場所	設置個数	津波避難ビル標識	西、南区内の津波避難ビル	200 枚
種類	設置場所	設置個数										
津波避難ビル標識	西、南区内の津波避難ビル	200 枚										
	<p>浜松市津波対策委員会 (11,919 千円)</p> 専門委員 4 名、市民委員 2 名を交えて 3 回開催予定。 三連動地震の被害想定を踏まえて避難施設・避難方法等の津波対策の検討を行い、提言を取りまとめる。											

項目	地域防災無線整備事業					危機管理監	
						危機管理課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	工事 請負費	公有財産 購入費	補償、補填 及び賠償金		
356,163		6,174	348,703	800	486		

目的	災害時も庁内、防災関係機関等において円滑な連絡、情報収集が行えるよう、情報伝達手段を構築する。						
背景	無線設備は旧市町村で整備したものを使用しているため、通信単位も旧市町村単位となっており、全市域をカバーする防災無線がない。主な通信手段は一般電話となるため、災害時には通信障害が発生する可能性が高い。 平成 19 年度より地域防災無線整備を進めており、平成 22 年度に旧浜松・浜北地域の整備 (デジタル化) が完了し、未整備地域への整備を順次進める。						
内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尉ヶ峰中継局整備 (北区細江町) ・子局整備 (西・北区役所、避難所等へ 255 台を配備) ・天竜区域内中継局等の用地取得、工事着手 <p>2 事業費</p> <p>(1) 尉ヶ峰中継局及び子局の整備 (346,606 千円) 工事、工事監理委託等</p> <p>(2) 天竜区域中継局等の整備 (9,557 千円) 整備工事費、用地取得費等</p>						
整備内容	H19・20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
統制局 (市役所本庁) 副統制局 (消防局) 太平洋富士見平 中継局 子局 379 箇所	基本計画 実施設計	整備工事	整備工事				
尉ヶ峰中継局 子局 255 箇所		基本設計	実施設計	整備工事	整備工事		
天竜区域 中継局 4 箇所等				実施設計	整備工事	整備工事	整備工事

項目	防災施設・資機材整備事業					危機管理監	
						危機管理課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	需用費	工事 請負費	備品 購入費	負担金		
54,718		2,366	42,796	9,161	395		

目的	災害発生時の備えのために、避難所への防災倉庫など防災施設や資機材等の整備を進め、防災力の維持に努める。
背景	東日本大震災や台風 15 号などを踏まえ、防災拠点の機能強化や災害事象に合わせた配備資機材の見直しが必要となっている。
内容	<p>防災拠点の整備・設備移転など (42,796 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 龍山地域自治センター建替に伴う設備移転 同報無線や防災行政無線の操作機器、震度計の移設など ・ 防災倉庫の移設・新設 防災倉庫のない避難所等へ防災倉庫を設置するもの (天竜区内 移設 7 棟・新設 8 棟) ・ 同報無線子局移設・新設 沿岸部や土砂災害の危険地域へ同報無線子局を設置し、難聴地域の解消を目指すもの (西区 2 箇所、天竜区 7 箇所、北区 1 箇所) ・ 避難地標識、案内標識及び避難所案内看板の設置 避難所の看板様式の統一、指定変更となった避難所への看板の新設など (避難所案内看板更新 13 箇所、避難所看板新設・更新 14 箇所) <p>防災資機材の整備 (11,527 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災倉庫等へ配備する資機材の整備 避難所用トイレ凝固・衛生袋 (50 セット、1 セット 100 回分) 避難所用ラジオ (天竜区内 43 避難所) チェーンソー (浜北区内 10 避難所) など

項目	浜松・出世城プロモーション事業について					企画調整部	
						企画課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	需用費	委託料				
7,700		1,000	6,700				

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・徳川家康公が築城し別名“出世城”と言われる浜松城を活用したシティプロモーションを進め、国内外に浜松をアピールするため。 ・家康公が遺した歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光を創出しながら、都市の魅力を向上させるため。
背景	職員提案により事業化された「家康サミット～ふりかえれば未来～」の理念をふまえ、平成24年度に開催する事業を関連各課と調整した。
内容	<p>1 第2回浜松出世城まつりの開催 3,000千円 (観光交流課) 日 時：秋頃 場 所：浜松城公園 内 容：家康公武者行列、火縄銃や居合の演舞などを開催</p> <p>2 ケータイ連携プロモーションの拡充 1,500千円 (観光交流課) 浜松城とその周辺に残る家康公ゆかりの地をめぐるコース「家康の散歩道」を題材としたアプリケーションの対象エリアを拡大し、「家康の散歩道」以外の家康公ゆかりの歴史的遺構や山城なども案内する</p> <p>3 「出世のまち・浜松」プロモーション事業 3,200千円 (広聴広報課) 「(仮称) はままつ出世ストーリーブック」の制作や「(仮称) はままつ出世街道」命名 (表示フラッグの制作・掲出) などを通じて、全国に、「出世のまち・浜松」・「サラリーマンの聖地・浜松」をPRする。</p>

項目	区制検討事業						企画調整部
							企画課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料	
13,910		1,010	550	7,200	5,000	150	

目的	<ul style="list-style-type: none"> 行政運営の効率化及び市民サービスの維持向上のため、現行の区制度について検討を行う。 広く市民の意見を反映させるため、住民投票条例の制定を検討する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> マニフェスト工程表では、利点、不利点、先進事例を整理し、住民投票の制度設計、有効性について検討している。 第2次行革審で行政区の廃止または削減の提言があり、第3次行革審の答申においては、区の再編の検討に対する取り組みの遅滞が指摘されている。
内容	<p>1 市民意向調査の実施 区再編案を検討する前に、市民意向調査を行い、再編への市民意識を把握する。 手法：全戸配布によるアンケート実施 事業費 12,200 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 (アンケート用紙等作成、回収等) 返信用郵便料 <p>2 行政区再編案検討市民会議の開催 自治会、経済界、有識者などの広範な意見を聴く市民会議の開催 事業費 1,710 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 報償費 (委員報酬) 需用費 (消耗品、会議用お茶等) 会場借上料

項目	みんなのはままつ創造プロジェクト事業					企画調整部	
						企画課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	需用費	補助金			
50,453		78	375	50,000			

目的	<p>第2次浜松市総合計画に掲げた都市の将来像「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」の実現に向け、民間企業や市民活動団体が主体的に実施する催事に対し助成し、「市民協働」の効果的な推進を図る。</p>
背景	<p>市制100周年記念事業として実施した「100夢プロジェクト」では、市民主体のイベント等が数多く実施され、新たな市民協働の人材の発掘や、市民主体の活動の活性化などの効果を得た。</p>
内容	<p>1 みんなのはままつ創造プロジェクト補助金 創造都市実現を目的とした民間企業や市民活動団体の主体的な催事(産業・文化の活性化)に対し、必要な費用を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上限 : 100万円 ・ 事業数 : 50件程度 ・ 補助金 : 50,000千円 <p>2 みんなのはままつ創造プロジェクト審査委員会の開催 採択事業の審査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報償費 78千円 <p>3 募集チラシ及び事業推進パンフレットの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷製本費 375千円

項目	子どもの才能を伸ばす課外 I T 講座開催事業						企画調整部
							企画課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	負担金					
3,500		3,500					

目的	<p>英才教育の手法を取り入れた課外特別講座を、産学官の連携により開設し、I T 分野に係る才能豊かな子どもを育成する。</p>
背景	<p>マニフェスト工程表では、「理数、外国語、音楽、美術などの課外特別講座の創設」に向け各種事業を展開することとしており、先行して I T 分野のプロジェクトを民間団体と協力して進める。</p>
内容	<p>1 概要 産業界、大学、浜松市が運営主体となり協議会を設立し、I T 分野の才能を伸ばすための英才教育の手法を取り入れたカリキュラムによる課外講座を運営する。</p> <p>2 内容 対 象：市内在住の小学生（低学年） 講座内容：プログラミング能力が身に付く体験学習ツールや、携帯型情報端末機を使い、I T 分野に係る才能を育成する。</p> <p>3 事業費 3,500 千円（負担金） 負担金交付先：(仮称) 浜松 I T トップガンプロジェクト協議会</p>

項目	エンジン 01 オープンカレッジ開催事業						企画調整部
							企画課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	負担金					
35,000		35,000					

目的	<ul style="list-style-type: none"> 各分野の第一線で活躍する著名人、文化人と市民の知と文化の交流を通じ、地域文化の活性化を図る。 情報発信力の強い講師メンバーに浜松での開催を広報してもらうことにより、浜松市の文化を全国に発信する。
背景	<p>エンジン 01 文化戦略会議とは、樋口廣太郎 (アサヒビール相談役)、三枝成彰 (作曲家) ら各分野の表現者、思考者が日本文化のさらなる深まりと広がり为目的に参集した集団で、年に一回地方都市で「オープンカレッジ」を開催している。</p>
内容	<p>1 事業内容 開催時期：平成25年2月の3日間 開催場所：アクトシティ周辺 催事内容：1日目 開会式、オープニングイベント、ウェルカムパーティ 2日目 各種講座、夜楽 (飲食店を会場にした放課後授業) 3日目 各種講座、閉会式、クロージングイベント など</p> <p>2 事業費 35,000千円 (負担金) 負担金交付先：エンジン01オープンカレッジ in 浜松実行委員会</p> <p>(参考) 過去の開催都市、開催テーマ 平成21年度 高知市 「高い知、高知。大自慢大会～暗い日本を、自慢で明るく元気に。」 平成22年度 長岡市 「歌え♪長岡♪」 平成23年度 鳥取市 「鳥取文化の創造に向けて～山陰海岸ジオパークと砂像文化の創造～」</p>



項目	外国人の子どもの教育支援事業						企画調整部
							国際課
24 事業費（千円）	内容 （千円）	委託料					
46,817		46,817					

目的	平成 23 年度から 3 か年計画で実施している「外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業」の 2 年目の取り組みとして、支援教室の開催をはじめとしたきめ細やかな支援など不就学を生まない仕組みの構築を行う。
背景	市長マニフェスト項目：外国人の子どもの不就学ゼロ作戦 「外国人児童生徒の不就学を解消します」（平成 23 年度から 3 か年計画で実施中） 財源は、平成 23 年度に引き続き、国の緊急雇用創出事業を活用する。
内容	<p>1 事業内容</p> <p>（1）きめ細やかな支援の実施 実態調査の実施、不就学家庭の面談、就学案内、カウンセリング等</p> <p>（2）支援教室の実施 不就学状況にある外国人の子どもや学校に通っていても支援の必要な外国人の子どもを対象に支援教室を開催。</p> <p>（3）将来にわたり不就学を生まない仕組みの構築 きめ細やかな支援の実施をはじめ、将来に亘り不就学を生まない仕組みを構築し、次年度のスキームを確立。</p> <p>2 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務長 1 人 ・事務員 1 人 ・就学支援員 3 人（内 1 人は新規雇用） ・支援教室コーディネーター 3 人（新規雇用） ・支援教室補助員 3 人（新規雇用） ・日本語支援員 3 人（新規雇用）

項目	日韓欧多文化共生都市サミット 2012 浜松 開催事業						企画調整部	
							国際課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	旅費	需用費	役務費	委託料	使用料及 び賃借料	
4,500		450	295	30	40	2,985	700	

目的	<p>日本・韓国・欧州の各地域において先進的な取り組みを行っている多文化共生都市によるサミット(首長会議)を開催し、お互いの知見と経験を共有するとともに、国内及び日本・韓国・欧州の多文化共生都市間の連携を促進する。</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年 11 月 8 日開催の外国人集住都市会議において、設立 11 年目を迎えた当会議の次のステージとして国内外の外国人集住都市との連携が必要であると市長が提言。 平成 24 年 1 月 18 日開催の「多文化共生都市 国際シンポジウム」において、日韓欧の多文化共生都市間の連携について市長が提案し、連携促進を目指す『東京宣言』が登壇者及び会議の参加者の賛同を得て採択された。
内容	<p>1 事業概要</p> <p>開催時期：平成 24 年 10 月 (予定)</p> <p>会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター</p> <p>参 加 者：日本・韓国・欧州の自治体関係者、一般参加者</p> <p>主 催：浜松市</p> <p>共 催：国際交流基金</p> <p>内 容：日韓欧 実務者会議 日韓欧の首長によるラウンドテーブル など</p> <p>2 事業費 4,500 千円</p>

項目	ご当地ナンバープレート作成について						財務部	
							市民税課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	需用費					
4,911		100	4,811					

目的	浜松の産業や歴史および文化を市内外に広く PR し、郷土浜松の誇りや愛着心を育むために、動く啓発看板としてご当地ナンバープレートのデザインを公募し作成するもの。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 19 年に愛媛県松山市の「雲のかたちのナンバープレート」導入が初め。 ・全国 1,750 の市町村のうち 74 市町村が実施 (平成 23 年 12 月 1 日現在) ・県内は御殿場市・富士市・富士宮市・裾野市・小山町が富士山型を作成
内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご当地ナンバープレートのデザインを公募 ・審査を外部の専門家に依頼 ・最優秀作品及び優秀作品数点を選考し、記念品等を贈呈 <p>2 事業費 4,911 千円 ナンバープレート金型作成、プレート制作 (10,000 枚) など</p> <p>3 他都市のナンバープレート</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

項目	固定資産税評価地理情報システム業務						財務部
							資産税課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託費	賃借料				
193,130		192,119	1,011				

目的	<p>合併前の旧市町村単位で、土地評価業務手法が異なっていたものを、地理情報システム (GIS) を導入して統一するとともに、航空写真を活用して土地評価課税業務の効率化・合理化をはかる。</p>
背景	<p>旧舞阪・雄踏・引佐・三ヶ日・細江・天竜は合併前から GIS システムを導入済みだが、導入後 10 年も経過するため、パソコン等機器の継続使用が困難になっている。また、旧浜松・旧浜北の紙の評価図の耐久性も限度を越えている。</p>
内容	<p>1 事業内容 旧市町の GIS データを新「固定資産税評価地理情報システム」に取り込み、紙の評価図を用いた土地評価業務手法から、地理情報システム (GIS) を用いた全市統一の土地評価業務手法へ見直し、航空写真を活用して現地調査以外の土地評価業務に関する事務をシステム化する。</p> <p>2 平成 24 年度事業費 193,130 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地番図修正 ・地理情報システム システム導入・保守 路線価算定 評価基礎資料作成 機器リース費 など </p> <p>3 スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年 入札・契約 平成 24～25 年 システム設定、テスト運用 平成 26 年 7 月 システム運用開始 </p>


項目	中山間地域まちづくり事業						市民部	
							市民協働・地域政策課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	交付金	報償費					
100,070		100,000	70					

目的	中山間地域に生活する市民が自ら発案し行動することによって、地域の活性化に寄与できるように、地域密着型 NPO 法人の活動に交付金を交付するもの。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・市長マニフェスト登載事業 ・中山間地域の住民による自主的・主体的なまちづくり活動の必要性
内容	<p>1 交付対象事業</p> <p>提案者 : 地域密着型 NPO 法人</p> <p>対象事業期間 : 原則、3 年以上 10 年以内</p> <p>事業費 : 上限なし、審査会で事業費が適正であるかを判断</p> <p>交付率 : 原則 10 / 10 (一部交付も可能)</p> <p>対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市中山間地域振興計画の対象地域内で実施する同計画の重点方針・施策に合致する公益性の高い事業。 ・原則ソフト事業 (イベント系のソフト事業、調査・研究事業のみ、ハード事業は対象外) <p>2 交付額等</p> <p>平成 24 年度交付額 : 100,000 千円</p> <p>平成 25 年度以降は、平成 23 年度 2 月補正予算で造成する地域振興等基金からの繰入金で財源措置。</p> <p>3 事業例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の買い物支援や見守りネットワーク ・空き家活用による交流や定住の促進 ・デマンドタクシーの運行 ・特産品の創出や販路開拓 ・新しい地域の魅力の創造

項目	浜松国際ピアノコンクール開催事業						市民部	
							文化政策課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	負担金						
130,000		130,000						

目的	世界の優秀な若いピアニストの発掘、育成と、市民との交流並びに市民へ質の高い音楽を提供しながら、「音楽の都・浜松」を世界に向けて発信することを目的として、浜松国際ピアノコンクールを開催する。
背景	平成3年から3年に1度開催しており、平成24年度は第8回の開催年となる。
内容	<p>1 事業内容</p> <p>5月 : DVD予備審査の開催</p> <p>6月中旬 : 第8回浜松国際ピアノコンクール概要説明記者発表 (東京都内)</p> <p>8月中旬 : 出場者決定</p> <p>11月上旬 : オープニングコンサート、第1次～第3次予選</p> <p>11月下旬 : 本選、入賞者披露演奏会</p> <p>2 事業費 130,000千円 (負担金)</p> <p>負担金交付先 : 財団法人浜松市文化振興財団</p> <div data-bbox="453 1464 1147 1924" data-label="Image"> </div> <p>第7回浜松国際ピアノコンクールの様子</p>

項目	こどもミュージカル開催事業						市民部
							文化政策課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料					
20,000		20,000					

目的	<p>次世代のまちづくりの担い手である子どもたちが本物の舞台芸術へ出演・体験することで、芸術の奥深さや魅力、生涯にわたって芸術文化に触れていくことの価値について理解を深めるとともに、舞台芸術に関わる優れた人材を幅広く活用し、浜松ならではの市民文化を創造する。</p>
背景	<p>平成13年から概ね3年に一度開催。</p>
内容	<p>1 事業内容 「第4回こどもミュージカル」 開催日：平成24年9月23日（日） 会場：アクトシティ浜松大ホール 出演者：市内公募でオーディションに合格した小学5年から高校3年（上演時）60名 演奏者：ジュニアオーケストラ浜松 主催：浜松市・浜松市教育委員会 主管：財団法人浜松市文化振興財団 運営：こどもミュージカル実行委員会</p> <p>2 総事業費 20,000千円</p> <div style="text-align: center;">  <p>第3回こどもミュージカルの様子</p> </div>


項目	アクトシティ浜松施設整備事業					市民部		
						文化政策課		
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	備品 購入費	工事 請負費	委託料				
197,000		900	187,430	8,670				

目的	計画的に施設・設備を更新することにより、施設の長寿命化を図るとともに、安全に利用できる施設として利用者に提供する。
背景	アクトシティ浜松は「音楽の都・浜松」を目指すなかで中心的な拠点施設として位置づけられ、市民の文化の向上及び地域産業の発展を図るため設置されたが、開館から17年が経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいる。
内容	<p>事業内容及び事業費</p> <ol style="list-style-type: none"> Aゾーン防災システム更新 189,600 千円 設置から17年が経過し、設備の保守部品が製造中止となっている大ホール等の自動火災報知設備を更新する。 アクトシティ浜松ユニバーサルデザイン対応 5,500 千円 Aゾーンから他ゾーンへの移動をスムーズにするため、誘導サインの設置及びコングレスセンター2階の観音扉の出入口を自動ドアに改修する。 大ホール舞台機構制御システム更新工事 債務負担行為設定額：749,348 千円 設置から17年が経過し劣化が進んでいる大ホールの舞台機構制御システムの更新工事を平成25年度に実施するため、債務負担行為を設定するもの。 発注方法：指名競争入札 利用休止予定：大ホール 平成25年11月～平成26年2月まで(4ヶ月間)

項目	新活動拠点施設整備事業						市民部	
							文化政策課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	工事 請負費					
418,408		11,359	407,049					

目的	旧あいホールを男女共同参画推進機能と、文化芸術活動の創造拠点機能を併せ持つ複合施設として整備し、浜松市の男女共同参画の推進及び文化の振興を図る。
背景	旧あいホールは、男女共同参画を推進する市民団体の活動拠点施設として市内唯一の施設であり、また、青年婦人会館として設立された経緯から音楽団体など各種文化団体の活動拠点であった。耐震性能が低く、築34年を経て設備や内外装等の老朽化が進んでいるため、平成22年3月、施設を閉館、解体し、新たな施設として整備することとなった。
内容	<p>1 施設の概要</p> <p>所在地 : 浜松市中区幸三丁目3番1号 (延床面積 : 2,587.92 m²)</p> <p>構造 : 鉄筋コンクリート構造 地上3階 地下1階 (一部鉄骨構造)</p> <p>建物構成 : ホール、利用室、楽器保管庫、面談室、託児室等</p> <p>2 事業費 418,408千円</p> <p>建築工事 電気設備工事 機械設備工事 工事監理委託 など</p> <p>3 スケジュール</p> <p>平成23年度 設計修正、契約議決、工事関係契約</p> <p>平成24年度～25年度 建設工事 (外構含む)、信号機移設工事</p> <p>平成25年度 開設準備、供用開始</p>


項目	平口スポーツ施設整備事業						市民部	
							スポーツ振興課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	需用費	役務費	委託料	工事 請負費	公有財産 購入費	負担金補助 及び交付金	
621,757		924	52	7,081	533,925	71,160	8,615	

目的	<p>市民の健康維持や体力の向上及び人々が集う交流の場として、地方拠点都市法に基づく拠点地区に位置づけられている平口地区にサッカー場など、スポーツ施設を整備するもの。</p> <p>平成24年度は、擁壁工、植栽工、グラウンド整備工などを実施する。</p>
背景	<p>浜北区平口地区を、地方拠点都市法に基づく拠点地区に位置づけ、同地区に公共スポーツ施設を整備する計画を定めている。この計画に基づき、平成16年までに整備した浜北総合体育館、浜北温水プールに加え、新たにサッカー場、多目的広場などを整備する。</p>
内容	<p>1 土木工事 533,925千円 植栽工事 園路広場整備工事 管理施設整備工事(門扉工) グラウンド整備工事 など</p> <p>2 監理委託 7,025千円 土木工事 監理業務委託</p> <p>3 用地の取得 71,160千円 土地開発基金により取得した土地の買戻し</p> <p>4 その他 9,647千円 下水道受益者負担金 など</p> 


項目	アーチェリー場建設事業						市民部	
							スポーツ振興課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	工事費	委託料					
35,000		32,700	2,300					

目的	新たにアーチェリー場を整備することにより、市内で不足しているアーチェリーの練習会場などの確保を図る。
背景	市内高等学校のアーチェリー部及び市民アーチェリー愛好者の活動場所を確保するため、現在閉鎖されている江之島水泳場屋外プール敷地を利用して、アーチェリー場を整備する。
内容	<p>1 施設整備概要 (計画案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーチェリー場面積 102m × 16m = 1,632 m² ・射距離 90m、70m、60m、50m、30m ・標的 6 個 ・防矢フェンス (ネット) 東側 H5m L105m、西側 H3m L70m ・防矢ネット (前垂れ) W15m × 3 枚 <p>2 事業費 35,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事 ・監理業務委託料 <p>3 事業計画</p> <p>平成 23 年度 土木実施設計</p> <p>平成 24 年度 土木工事 土木工事監理委託</p> <p>平成 25 年度 アーチェリーレンジ供用開始</p>

項目	舞阪文化センター機能移転改修事業						市民部	
							生涯学習課	
24 事業費(千円)	内容 (千円)	役務費	委託料					
4,496		96	4,400					

目的	舞阪文化センターの生涯学習機能を、舞阪地域自治センター内に移転する。
背景	<p>舞阪文化センターは、築37年が経過し老朽化が著しく、今後の維持管理・改修に相当の経費が予想される。加えて、他施設と比較して規模が大きいが、利用者数も減少傾向にある。</p> <p>これらの実態から、年間にかかるコストを鑑み、現状の舞阪文化センターを廃止し、舞阪地域自治センター（平成24年度から舞阪協働センター）に生涯学習機能を移転する。</p>
内容	<p>1 事業内容 利用実態から施設規模を見直し、舞阪地域自治センターの1階、2階に移転させるため、舞阪地域自治センターを改修するもの。</p> <p>2 平成24年度事業費 4,496千円 ・設計委託料 4,400千円 ・手数料 96千円</p> <p>3 スケジュール 平成24年度 機能移転工事設計 平成25年度 機能移転工事 平成26年度 供用開始（4月1日予定）</p>  <p>The map shows the Maibara area with labels for '舞阪地域自治センター' (Maibara Regional Community Center), '舞阪文化センター' (Maibara Cultural Center), '舞阪協働センター' (Maibara Collaboration Center), '舞阪公園' (Maibara Park), '市立舞阪小学校' (Maibara City Elementary School), and '舞阪文庫' (Maibara Library). A north arrow is also present.</p>

項目	入野公民館機能修復事業					市民部	
						生涯学習課	
24 事業費(千円)	内容 (千円)	役務費	委託料	工事費			
103,500		285	2,815	100,400			

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強を含めた施設の機能修復工事を実施し、施設の適正な管理運営を図る。 ・エレベーター設置などユニバーサルデザインに配慮した施設改修を実施し、地域に密着した施設として利用者の一層の利便性を図る。
背景	<p>昭和 54 年に設置された入野公民館は、建築後 33 年が経過し、内外装の劣化や空調機器等設備の老朽化が著しく、耐震性能もやや劣る建物であった。</p>
内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強 ・空調設備改修 (全体空調→個別空調) ・ホール、事務所の配置替 ・エレベーター設置 など <p>2 スケジュール</p> <p>平成 22 年度 基本設計・実施設計 平成 23 年度 改修工事 平成 24 年度 改修工事、供用開始 (9 月 1 日予定)</p> <div style="text-align: center;">  <p>現在の入野公民館外観</p> </div>

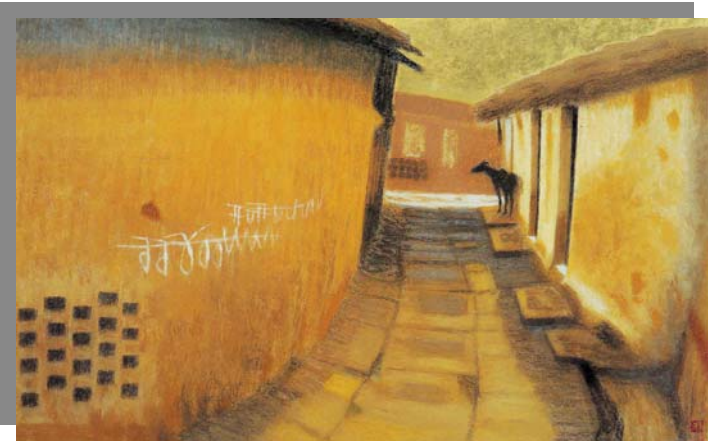
項目	東部公民館改築事業					市民部	
						生涯学習課	
24 事業費(千円)	内容 (千円)	工事請負費	委託料	役務費			
64,555		36,280	26,370	1,905			

目的	耐震性が劣り、経年劣化により老朽化した施設を改築することで、耐震化及びユニバーサルデザイン化を図る。						
背景	東部公民館は、昭和 33 年に建築され昭和 53 年に改修された旧東部中学校改築棟と昭和 53 年に建築された増築棟より構成されているが、旧東部中学校の改築棟においては、耐震診断の結果、耐震性が劣る建物と評価された。また、経年劣化による老朽化も著しい。						
内容	<p>1 事業内容 エレベーター、多目的トイレの設置等、ユニバーサルデザインに配慮した改築工事の設計を行うとともに、既存施設の解体工事を実施する。</p> <p>2 スケジュール</p> <table> <tr> <td>平成 24 年度</td> <td>既存施設解体工事設計・解体工事、改築工事設計</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td>改築工事</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>供用開始 (4 月 1 日予定)</td> </tr> </table>	平成 24 年度	既存施設解体工事設計・解体工事、改築工事設計	平成 25 年度	改築工事	平成 26 年度	供用開始 (4 月 1 日予定)
平成 24 年度	既存施設解体工事設計・解体工事、改築工事設計						
平成 25 年度	改築工事						
平成 26 年度	供用開始 (4 月 1 日予定)						
	 <p>現在の東部公民館外観</p>						

項目	北部地域図書館建設事業						市民部
							中央図書館
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料					
1,000		1,000					

目的	<p>北部地域に図書館を建設することで、市民の生涯学習を支援するとともに、新たな利用者の増加、更なる利用率の向上を図るよう、図書館サービスを提供していく。</p>
背景	<p>現在、22館1分室で図書館サービスを提供しているが、北部地域（都田、新都田、三方原地区）は図書館サービスが手薄となっている。</p>
内容	<p>1 コンセプト 市民が自ら調べ問題を解決するための支援機能の強化、ユニバーサルデザインへの配慮、児童コーナーを充実し、子育てを支援する図書館</p> <p>2 規模...旧浜松市内の標準的な図書館の規模 敷地面積：約5,000m² 延床面積：平屋建て約1,300m² 収蔵能力：7万冊程度（一般書4万冊、児童書2万冊、AV資料1万点）</p> <p>3 平成24年度事業費 1,000千円 ・調査委託料 1,000千円 基本構想策定のため、建設地、規模、施設に必要な機能を調査するもの</p>

項目	秋野不矩美術館運営事業				市民部
					美術館(秋野不矩美術館)
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	需用費	その他	
23,790		9,006	3,714	11,070	

目的	文化勲章受章者である日本画家秋野不矩の業績を広く紹介し、その情報を発信するため、資料の収集、保存、施設の管理運営を行う。
背景	秋野不矩美術館は開館から一貫して秋野不矩作品の収集保存を行っている。平成24年度は、京都春季創画展出品作で、多くの出品歴を持つ貴重な作品の購入を予定している。
内容	<p>購入作品の概要</p> <p>作品名：村落 (カジュラホ)</p> <p>制作：平成6年 ※京都春季創画展出品</p> <p>寸法：114.0×184.0 cm (縦×横)</p>  <p>カジュラホは、中部インドに位置するチャンデラ朝の故郷で、ミトゥナ（結合神）の群像で飾られた寺院が残る旧跡として知られている。</p> <p>秋野不矩は、その旧跡観光として人気のある寺院ではなく、そこから少し離れた村のなかの黄色い土壁にはさまれた静かな路地に目を向け、営々と続いてきた人々の生活の匂いを嗅ぎ取ろうとした。</p> <p>秋野不矩が好んだ黄土色が多く用いられていると共に、黒が効果的に用いられており、見るものの視線が絵の中へと誘い込まれる。</p>

項目	天竜区船明地区墓地整備事業					市民部	
						市民生活課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	使用料及び 賃借料	工事 請負費	公有財産 購入費	その他	
567,630		12,684	6,719	161,135	385,857	1,235	
目的	核家族化や宗教観の多様化等に対応した市民への安定的な公営墓所の供給を行う。						
背景	平成21年6月で既存市営墓所の新規貸付が終了し、今後の市民の墓所需要に対応する。						
内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・墓所整備 (1,158 区画)、トイレ整備 <p>2 墓地の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地 船明土地区画整理事業内保留地 43,333.32 m² ・区画整備数 5,799 区画 (予定) <p>3 事業スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備工事 平成23年度～平成27年度 <p>4 貸付開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年4月より整備済の826区画を貸付開始 						
	<p>The map shows the layout of the cemetery with five distinct phases highlighted in red. Phase 1 (第1期) is at the bottom center. Phase 2 (第2期) consists of two areas, one on the left and one on the right. Phase 3 (第3期) consists of three areas, two on the left and one in the center. Phase 4 (第4期) is a large area on the right. Phase 5 (第5期) is a small area on the right. National Route 152 (国道152号) is shown as a red line on the right side of the map. Other landmarks include '針原平楽園' (Harihara Hei Rakuen) at the top, '川尻池公園' (Kawajiriike Park) in the middle, and 'Greenland Community Center' (グリーンランドコミュニティセンター) at the bottom center. A scale bar and north arrow are also present.</p>						